

第4節 自動車による環境負荷の低減

本市の環境の状況をみると、環境基準が定められた項目のうち大気と騒音に関する一部の項目において、環境基準に適合していない項目があります。

自動車の保有台数が継続して増加し続けていること、国道19号の交通量が県内でも有数であること、さらに、混雑度の高い道路が見られることなどから、今後、沿道環境対策が重要になってくるものと予想されます。

自動車の利用抑制などによる沿道環境の改善に向けて、次の取組みを進めます。

- 4 - 1 沿道における大気汚染、騒音・振動対策
- 4 - 2 鉄道・バスの利用の促進
- 4 - 3 鉄道駅周辺における駐輪場や駐車場等の整備
- 4 - 4 エコ燃料(仮称)の有効利用
- 4 - 5 市民・事業者への低公害車(エコカー)の普及及び公用車への計画的導入

4 - 1 沿道における大気汚染、騒音・振動対策

(1) 大気汚染測定

市内の大気汚染状況を把握するため、市内3地点(市管理2地点:市役所北駐車場他(移動局 平成18年度は移動し、4地点で測定)・下津保育園(固定局)、県管理1地点:勝川小学校)で常時監視調査を実施しています。

調査結果は、二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質、一酸化炭素は環境基準に適合しましたが(移動局は評価対象より除く)、光化学オキシダントは環境基準を超過した時間数があり、環境基準に適合しませんでした。

光化学オキシダント濃度が高くなり、気象条件からその状況が悪化すると予測される場合、愛知県から光化学スモッグ注意報などが発令されますが、平成18年度の本市該当区域での発令はありませんでした。

大気汚染測定局の調査結果

調査項目	調査地点	市役所北駐車場		下津保育園	
		平成17年度 (年平均値)	平成18年度 (設置期間日平均値)	平成17年度 (年平均値)	平成18年度 (年平均値)
二酸化硫黄	Ppm	0.005	0.007	0.004	0.006
二酸化窒素	Ppm	0.035	0.032	0.023	0.023
一酸化炭素	Ppm	0.5	0.4	-	-
浮遊粒子状物質	mg/m ³	0.031	0.031	0.034	0.032
光化学オキシダント	Ppm	0.012	0.024	0.017	0.018

大気環境基準

二酸化硫黄	日平均の2%除外値が0.04ppm以下であること。
	ただし、日平均0.04ppmを超えた日が2日以上連続しないこと。
二酸化窒素	日平均の98%値が0.06ppm以下であること。
	日平均の2%除外値が10ppm以下であること。
一酸化炭素	ただし、日平均10ppmを超えた日が2日以上連続しないこと。
	日平均の2%除外値が0.10mg/m ³ 以下であること。
浮遊粒子状物質	ただし、日平均0.10mg/m ³ を超えた日が2日以上連続しないこと。
	1時間値が0.06ppm以下であること。
光化学オキシダント	ただし、5時から20時の時間帯について評価。

(2) 道路騒音測定

道路に面する地域に係る環境基準の達成状況及び自動車騒音の要請限度の超過状況を把握するため、国道19号線を始め11路線13区間において騒音測定及びその評価を行いました。

環境基準については、13区間、総延長34.6kmで面的評価(道路端から50mの範囲内にある住居等のうち、環境基準を達成している住居等の戸数及びその割合を把握するもの)を行い、環境基準適合率は昼間の時間帯で90.6%、夜間の時間帯で89.5%でした。

また、騒音測定を行った5地点のうち、国道19号線の瑞穂通地内の地点で要請限度を超過しました。

道路騒音測定結果

環境基準達成率		(%)	
路線名	路線区域	昼間(6時~22時)	夜間(22時~6時)
国道19号	瑞穂通5丁目~大泉寺町	96.1	94.0
国道155号	高蔵寺町2丁目~出川町3丁目	100.0	86.0
国道155号	出川町3丁目~大泉寺町	77.1	76.5
国道302号	中野町1丁目~勝川町4丁目	97.1	97.7
春日井一宮線	八田町1丁目~町屋町	85.7	85.3
春日井一宮線	町屋町~牛山町	86.1	69.4
関田名古屋線	弥生町2丁目~松河戸町	94.4	81.2
春日井稲沢線	大和通2丁目~上ノ町1丁目	96.2	99.1
名古屋犬山線	中新町1丁目~味美西本町	78.0	76.3
神室味美線	八田町1丁目~惣中町1丁目	91.5	99.8
高蔵寺小牧線	高蔵寺町北2丁目~上野町	85.7	86.4
篠木尾張旭線	下市場町3丁目~熊野町	100.0	99.7
内津勝川線	出川町~鳥居松町5丁目	84.3	83.1
計		90.6	89.5

4 - 2 鉄道・バスの利用の促進

(1) かすがいシティバス

病院循環線

平成 10 年 11 月から、新市民病院の開業にあわせて4路線で運行しています。

また、平成 14 年 11 月 30 日から病院循環線へと名称を変更し、利用料金を距離制から 200 円の均一料金としました。

施設連絡線

平成 2 年 5 月に施設連絡バスとして東西線を運行し、平成 4 年 8 月には南北線を増設しました。

また、平成 14 年 11 月 30 日から施設連絡線と名称を変更し、利用料金を無料から 100 円の均一料金とするとともに、毎日運行と施設への路線延伸を図りました。

地域連絡線

市域内における「バス空白不便地域」の解消のため、平成 14 年 11 月 30 日から新路線として地域連絡線の運行を開始しました。また、利用料金を 200 円の均一料金としました。

かすがいシティバス利用状況

単位：人

路線	平成 18 年度	対平成 17 年度比
病院循環線	206,736	28,644 減
施設連絡線	36,596	183 減
地域連絡線	33,889	2,081 増

また、施設連絡線2台のうち1台を NOx・PM 法に適合した小型ノンステップバスに更新しました。

(2) 超低床車ノンステップバス導入費補助事業

バス利用促進を図るため、高齢者、障がい者等だれでも乗りやすいノンステップバス車両導入費に対する補助を前年同様に実施しました。(3台に補助:1,232千円)



写真:小型ノンステップバス

(3) 愛環 ECO 通勤推進事業

愛知環状鉄道沿線地域は、日本有数の工業集積地帯であり、この地域では通勤の自家用車への依存度が高く、公共交通機関への転換が大きな課題となっています。

そこで、渋滞緩和対策など地球温暖化防止に貢献することを目的に、本市では沿線3市(豊田市、岡崎市、瀬戸市)との連携により、マイカー通勤を徒歩や自転車、公共交通機関利用など環境負荷の小さい交通手段による通勤に切り替える運動として、ECO通勤推進実験「チャレンジECO通勤」を実施しました。

4 - 3 鉄道駅周辺における駐輪場や駐車場等の整備

環境負荷の少ない移動手段である自転車や公共交通機関の利用促進を図るため、平成 18 年度はJR神領駅にバイク 30 台、JR勝川駅高架下(西側)に自転車 60 台、名鉄味美駅に自転車 166 台を収容可能な駐輪場を整備しました。

また、放置自転車をリサイクルした自転車を無料で貸し出すレンタサイクル事業は、市内 8 箇所にしており、平成 18 年度の利用率は 35.3% (平成 17 年度利用率 41.5%) となっています。

4 - 4 エコ燃料(仮称)の有効利用

市では平成 15 年度から植物性廃食用油の回収を実施し、18 箇所の公共施設で回収を行っています。回収した廃食用油は精製し、軽油の代替燃料として、ごみ収集車 2 台の燃料として使用しています。

平成 18 年度は 8,000 を回収し、5,780 を燃料として使用しました。

4 - 5 市民・事業者への低公害車(エコカー)の普及及び公用車への計画的導入

平成 18 年度から、大気汚染物質や地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出が少ない CNG(天然ガス)自動車などの低公害車を新規導入する中小事業者等に、導入費の補助を実施しました。(2 台に補助:1,000 千円)

また、市では低公害車導入計画に基づき、低公害車の公用車への導入を進めており、平成 18 年度の公用車に占める割合は 36%となっています。